

体育学専攻ナショナルリーディングコーチ養成プログラム

コーチング一般科目群

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH621	トレーニング学	1	2.0	1	春AB秋AB	木1		前村 公彦, 谷川 聡	スポーツトレーニングを推進するための適切な目標と課題の設定法、課題解決法や手段の選択・創造法、時間資源と時系列的な関連性を考慮した計画立案法、効果的なトレーニング実践法、トレーニング効果のアセスメント法に関する理論を理解し、高度なトレーニング実践を展開できる知を学習する。また、トレーニング学独自の学領域としてのオリジナリティーとその研究方法論について学んでいく。	AT必修科目 OAS0203と同一。 オンライン(オンデマンド型)
01EH622	コーチング論(事例討議)	1	1.0	1	秋AB	月5	5C213	前村 公彦	コーチには、当該スポーツ競技/種目の技術・戦術、トレーニングの指導だけでなく、トレーニング環境を整備したり、多様なステークホルダーと連携し目標を達成していくための能力も求められる。また、その前提となる「コーチング哲学」をどのように構築するかも重要である。本講義では、コーチング現場で活躍中のコーチを招いて、コーチング実践の場における現状と課題を知り、それらをもとに学生相互で討議することによって将来のコーチングに資する実践知の獲得をめざす。	OATP503と同一。 対面
01EH623	スポーツ運動学	1	1.0	1	春AB	木2		中村 剛	発生運動学としてのスポーツ運動学の学問成立の経緯、基本概念、運動の分析法を講義して、運動の実践現場および研究においてもつスポーツ運動学の意義、価値の理解を深める。具体的には、体育・スポーツ領域において使われている運動の概念についての整理、運動をゲシュタルト(運動ゲシュタルト)として認識することの重要性、現場において取り上げられる動きの質の問題、実際の動きを取り上げる際に重要になる生命的な時空間の問題、そして、「できる」ということを考える際に不可欠な身体知の問題、その「できる」を支える「動感」の問題、動きの意味と価値の問題、スポーツ運動学と現象学の関係、などについて講義する。	AT必修科目 OATP506と同一。 AT必修科目。オンライン(オンデマンド型)
01EH604	コーチングのバイオメカニクス	1	1.0	1・2	秋AB	月3	5C506	榎本 靖士	スポーツの技術やトレーニングを考えるための基礎となるバイオメカニクスの諸原則、動作の改善ループの考え方とその応用法、バイオメカニクスデータの解釈などについて解説し、これらの知識を動作の改善に活用するための基礎的能力を身につけることを学習目標とする。具体的には、スポーツ技術のバイオメカニクスのとらえ方、力学的エネルギー・効率・有効性指数の算出法の解説、選手の動きを評価・診断・改善するためのバイオメカニクスの知識の重要性の解説などを通して、客観的知識を基礎とするコーチングについて学習させる。	OATP501と同一。 対面
01EH624	身体技法論	5	1.0	1	秋AB	金3		吉田 美和子	目標: 気功、呼吸法、武術、整体法、体操、ボディワーク等の身体技法について理解し、それらと体育やスポーツとの関係や意味について、個々の身体技法として活用する方法を知る。 授業計画: 東洋の身体知(embodied wisdom)に対し、西洋の身体知ともいべきソマティクス(Somatics-身体を内側から捉える理論)の臨床的実践技法であるボディワークをテーマに、その理論的背景を学びながら、技術(art)の習得を図る。体験的解剖学に基づき、基本的な身体の構造や機能を学びながら、実際に動き(movement)、触れ(touch)、声を出し(vocalization)、身体の経験や気づきを言語化し(verbalization)討議を加える。前半は骨格系、後半は内臓を中心に取り上げる。	教室: 武道館第1多目的道場 対面
01EH405	武道文化論	1	1.0	1・2	秋AB	水2		酒井 利信	武道は日本で発祥し、長い歴史の中で宗教や芸能など様々な文化と交流をもちつつ独自の運動文化として成立したものである。そのユニークさゆえに海外ではジャパノロジー(日本学、日本研究)の対象ともなっている。世界で日本人がリーダーシップを取っていける数少ない領域であり、将来国際社会で活躍する者にとって必須の学習課題である。近年、日本刀ブームであるが、刀剣は単なる武器ではなく古来神聖なものとして扱われてきており、奥に深淵な思想体系を有している。本講義は、武道文化の中でも刀剣の思想に焦点を当て、最新の研究成果をテキストとし、PBL(Problem Based Learning)方式で学習・議論を重ねていく。	OATP507と同一。 オンライン(オンデマンド型) 2022年度限り。

01EH625	身体表現論	1	1.0	1・2	春AB	火2	寺山 由美	<私>にとって身体とは何かを問うことを通して、「身体表現」について考察する。自らの「身体表現」と他者の「身体表現」の違いを捉え、私たちがどのようにコミュニケーションを成立させているのかを検討する。特に、ダンスの場面における事例を取り上げ、「身体表現」の特性について考える。また、身体を持つ力に着目し、「身体表現」という括りでダンスとスポーツを捉えることで、体育・スポーツ学を多角的に検討することを試みる。	教室：体育学系棟A415(舞踊作業室)OATP505と同一。
---------	-------	---	-----	-----	-----	----	-------	--	--------------------------------

コーチング個別科目群

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH644	体操競技コーチング総合演習	3	1.0	1	秋AB	金3	体操競技場	金谷 麻理子	体操競技における技術のとらえ方および指導方法について、運動の学習プロセスの体験を通して学習する。	対面
01EH645	陸上競技コーチング総合演習	5	1.0	1	春AB	金5	5C411	大山 圭悟, 木越 清信	陸上競技フィールド種目の技術特性, 指導法やトレーニング法について概説する。	
01EH646	水泳競技コーチング総合演習	3	1.0	1	秋AB	木3	屋内プール	仙石 泰雄	水泳競技に関わる科学的データを収集し、データの分析および客観的な解釈方法を学習する。	対面
01EH647	バレーボールコーチング総合演習	5	1.0	1	秋AB	木3	5C514	中西 康己, 秋山 央	バレーボールの競技特性, 技術, 戦術, 指導法について概説する。	対面
01EH648	バスケットボールコーチング総合演習	1	1.0	1・2	春AB	木3	5C504	池田 英治, 内山 治樹	バスケットボールの特性, ルールと技術の関係, 基礎的技術からゲームまでのコーチングの方法を検討する。	
01EH649	ハンドボールコーチング総合演習	6	1.0	1	秋ABC	応談	5C411	藤本 元, 山田 永子	ハンドボールのコーチング実践に必要な理論の学習とコーチング実践活動を通して, ささまざまな問題に対処できる専門的な指導力を身につける。	対面
01EH650	サッカーコーチング総合演習	2	1.0	1	春AB	金4	5C513	中山 雅雄	演習形式でサッカーのコーチングに関わる理論の理解を深めると同時に, コーチングの実践を通してサッカーコーチとしての能力を高める。授業の前半は主に講義形式で「サッカーの構造」「プレーの原則」「タレント発掘」「サッカーのコーチング」等について整理する。その後, 各自でコーチングプランを作成し, 受講者間でそのプランを洗練する作業をおこなう。後半ではそのプランに基づきコーチング実践と省察によって自身のコーチング能力を改善する。	OATP517と同一。 対面
01EH651	ラグビーコーチング総合演習	4	1.0	1	春AB	木3		嶋崎 達也	ラグビーのコーチングに関わる幾つかのトピックスについて講義及び演習を行う。	オンライン(同時双方向型)
01EH652	テニスコーチング総合演習	6	1.0	1	秋C	水1,2	5C413	三橋 大輔	ストローク, ボレー, サービス動作の技術指導のあり方を検討する。	その他の実施形態要相談
01EH653	バドミントンコーチング総合演習	6	1.0	1	春AB	火4		吹田 真士	バドミントン競技の研究・指導に関する実習およびバドミントン競技能力を高めるための実習を行う。	対面
01EH654	野球コーチング総合演習	6	1.0	1	春AB	火4	5C412	川村 卓, 奈良 隆章	野球のコーチングを多角的視点から講義を行う。	専門的な内容になるので, 野球経験者に限る。実施形態: 要相談
01EH655	柔道コーチング総合演習	3	1.0	1	春AB	火4	柔道場	岡田 弘隆, 増地 克之	柔道の指導法を中心に実技, 理論を検討する。	
01EH656	剣道コーチング総合演習	3	1.0	1	秋AB	金4	5C302	香田 郡秀, 鍋山 隆弘, 有田 祐二	剣道の試合審判規則について学習し, 審判の理論と実践能力を高める。	対面
01EH657	弓道コーチング総合演習	6	1.0	1	秋AB	火3	弓道場	松尾 牧則	伝統的運動文化としての「弓道」の特性を理解するとともに, 弓道指導における基礎基本となる「基本体(基本の姿勢・基本の動作)」「射法八節」についてその理論学習と実践を通じて弓道コーチングの実際を学習する。「基本の姿勢」「基本の動作」「射法八節」正しく身につけ, 指導においても示範ができるようになる。また, 対象に応じた指導法を理解し, 安全かつ効果的に学習できる指導法を理解・習得する。	対面
01EH659	スポーツコーチング総合演習	2	1.0	1	春AB	火4		前村 公彦, 松元 剛, 河合 季信, 谷川 聡, 木内 敦詞	個別研究領域に含まれていないスポーツ競技/種目を専門とする学生を対象に, 種目横断的にその指導法についての理論や指導実践を学び, 望ましいコーチング及びトレーニングの在り方を探求する。各教員の専門スポーツ競技/種目におけるコーチング実践の知, またその背景となる科学的知見を手がかりにして, 自身の専門スポーツ競技/種目における先行研究の調査, コーチング実践などを行う。	研究領域に含まれているスポーツ種目を専門とする学生は, 受講できない。 OATP526と同一。 オンライン(同時双方向型)

01EH710	プログラム特別インターンシップ春	3	3.0	1・2	春C夏季休業中	随時		インターンシップ担当教員、三橋 大輔、吹田 真士、大山 圭悟、新竹 優子、池田 英治、成瀬 和弥	春学期から夏季休業期間にかけて、スポーツや健康に関連する様々な組織(例えば、日本代表、プロスポーツクラブ、地域スポーツクラブなど)において、事前の学習計画に基づいて現場で実習を行う。このインターンシップによって、通常の教育課程では学ぶことのできない高度で実践的な経験を積むことができ、より専門的な知識やスキルを学び、社会で実践できる能力を養う。	同一コースの履修は、春または秋のどちらか1つとする。OATP631と同一。その他の実施形態
01EH711	プログラム特別インターンシップ秋	3	3.0	1	秋C春季休業中	随時		インターンシップ担当教員、三橋 大輔、吹田 真士、大山 圭悟、新竹 優子、池田 英治、成瀬 和弥	秋学期から春季休業期間にかけて、スポーツや健康に関連する様々な組織(例えば、日本代表、プロスポーツクラブ、地域スポーツクラブなど)において、事前の学習計画に基づいて現場で実習を行う。このインターンシップによって、通常の教育課程では学ぶことのできない高度で実践的な経験を積むことができ、より専門的な知識やスキルを学び、社会で実践できる能力を養う。	同一コースの履修は、春または秋のどちらか1つとする。OATP632と同一。その他の実施形態 インターンシップ

関連マネジメント科目群

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH676	競技マネジメント論	1	1.0	1	秋A	集中	5C213	尾縣 貢, 山口 香, 高橋 義雄	国内外のスポーツ競技団体、スポーツリーグ組織、スポーツクラブ・チームを対象にマネジメントの視点から検討し、スポーツ関係組織・機構の経営に関する基本的な知見を学習するとともに、当該領域における当面の問題を明らかにし、基本的研究課題を理解する。	教室:5C108 OATP540と同一。 対面
01EH678	スポーツ情報戦略論	1	1.0	1	秋AB	火5		河合 季信	競技スポーツにおいて、情報をどのように活かすかが競技パフォーマンスに大きく影響する。競技スポーツにおける「情報」とは、単に自チームやライバル/相手チームのスカウティング情報だけでなく、ルールや人事に関する情報、マテリアルやテクノロジーに関する情報などの競技を取り巻く情報、さらには経済や社会の環境変化に関するより広い視点での情報も競技パフォーマンスに関係している。これらの情報を戦略にマッチさせながら、どのようにマネジメントするかについて、実践知をもとに体系的に学ぶ。	OATP542と同一。 オンライン(オンデマンド型)
01EH439	スポーツリスクマネジメント論	1	1.0	1	秋AB	火4		齋藤 健司	スポーツ活動におけるリスクマネジメント理論の応用を検討するとともに、スポーツ事故の法的責任、安全対策および事故防止策についての理解を深める。 リスクマネジメントの枠組み、プロセスなどの理論とそのスポーツへの応用、体育・スポーツ事故の統計データと事故原因、突然死、頭部外傷、脳震盪、熱中症、溺水事故、自然災害などの原因と対策、中止基準、健康調査、スポーツ事故の法的責任、スポーツ施設の法的責任、免責同意書等の法的防御書類などについて、事故事例及び判例を交えて解説する。	OATP142と同一。 オンライン(オンデマンド型)
01EK106	スポーツイベント論特講	1	2.0	1・2	秋A	金7,8 集中		高橋 義雄	スポーツプロモーションにおけるスポーツイベントの理念と意義を理解するとともに、スポーツイベントと地域形成、現代社会におけるスポーツイベント政策、プロフェッショナルスポーツの発展過程などについて、その歴史社会的な意味や現代的機能を探究する。スポーツイベントの社会的需要・供給関係を軸にした社会的構造・機能モデルに基づいて、スポーツプロモーションにおけるスポーツイベントの理念と意義を概説する。これに基づいて、現代社会におけるスポーツイベントのポジティブ/ネガティブな地域形成作用を分析し、そこから現代社会におけるスポーツイベント政策の社会的役割を分析する。また、プロフェッショナルスポーツの発展過程を分析し、その社会及び地域形成に関わる意味と機能について概説する。	集中講義10:00~ OATS120と同一。 10/29, 11/5
01EK201	スポーツマネジメント論特講	1	2.0	1・2	春A 春AB	金7,8 集中		尾縣 貢, 清野 隼	地域のスポーツクラブと学校の運動部の共存共栄がわが国のスポーツの更なる発展には求められている。マネジメントの面から、それぞれの活動における問題点を明確にし、今後、取り組むべき課題とそれらを解決するための具体的な取り組みについて概説する。	集中講義10:00~ OATS210と同一。 4/30, 6/18
01EK206	高度競技マネジメント論特講	1	2.0	1・2	秋AB	水7,8		山口 香	国際競技力開発の理念としてのスポーツ・プロフェッショナルリズムの重要性およびシステム編成に必要な資源評価・査定・開発とそのシステムマネジメントの課題と方法論について理解する。国際競技力開発に関する世界的状況を概説し、我が国における問題と課題を明らかにする。そして、国際競技力開発の仕組みを「発掘・育成・強化・支援」の各開発段階における物的・人的・文化的資源のシステム化として概説し、システム編成に必要な資源評価・査定・開発とそのシステムマネジメントの課題と方法論について講義する。	OATS220と同一。

## 国際性科目群

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH712	高度スポーツ指導者の英語会話	2	3.0	1	春AB秋AB秋C	木3集中	5C316	ネメシュ ローランド ヤーノシュ, 山田 永子, 中山 雅雄		OATP642と同一。対面
01EH713	高度スポーツ指導者の実践英語演習	2	1.0	2	秋C	集中		ネメシュ ローランド ヤーノシュ, 山田 永子	To plan and conduct sport activities in English during Tsukuba Summer Institute and other events	OATP644と同一。オンライン(同時双方向型)
01EH714	日本文化論(宗教, 思想, 古典芸能など)	1	1.0	1	夏季休業中 秋C	集中	5C301	酒井 利信	スポーツ界のリーダーとして世界で活躍するためには、グローバル化社会における自文化のオリジナリティーを自覚することも必要である。こういった考えのもと、日本文化論として宗教、思想、古典芸能などを取り上げ、フィールドワークも含めつつ学習し、日本文化の粋を理解する。本授業では特に宗教の中でも日本古来の民俗信仰であるところの神道に焦点をあて、武神タケミカヅチを祀る鹿島神宮と霊峰筑波山に鎮座する筑波山神社におけるフィールドワークを含めながら、両神宮・神社の宮司に特別にお願いをしてレクチャーをしていただく。	9月と2月に実施(全2回)。9/27は2限~6限。2月日程は後日決定。OATP643と同一。対面

## 関連スポーツ科学科目群

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH401	フェアプレイ論	1	1.0	1・2	秋C	木5, 6		深澤 浩洋	フェアネスの歴史的概観やフェアプレイを奨励する運動を踏まえ、フェアプレイが主張される意味について、複数の価値観、道徳観から考察する。また、フェアプレイを奨励する運動に言及する。実際にフェアプレイに徹するスポーツパーソンを育成するにはどうしたらよいか、どのようにフェアプレイ教育を展開していけばよいかということについて考察し、自分なりの見解を論理的に展開できることを目標とする。フェアネスの概念、スポーツのルールとエトス、フェアプレイの歴史、フェアプレイをめぐる問題の語られ方(個人と組織)、アンフェアの背景、フェアプレイキャンペーン、フェアプレイ奨励の方策、フェアプレイ教育の構想	OATP110と同一。オンライン(オンデマンド型)
01EH478	スポーツ心理学	1	1.0	1	夏季休業中	集中		雨宮 怜	アスリートの心理サポート現場での心理的諸問題の解説ならびに課題への対処方法について概説する。授業項目: スポーツ心理学(臨床スポーツ心理学)の歴史と概観、心理サポートのアプローチ、スポーツメンタルトレーニングの概要、スポーツカウンセリングの概要、実践と研究、心理臨床学的方法、タレント発掘、青年期におけるスポーツ経験と人格形成、スポーツ傷害と心理(事例中心)、メンタルトレーニング事例、アスリートの相談事例	AT必修科目 OATP214と同一。オンライン(同時双方向型)
01EH561	運動器のしくみと働き(基礎編)	1	1.0	1・2	春AB	火3		足立 和隆	運動器を構成する骨格、筋、神経系の概要を学ぶ。生物の形態は、その機能と深いかわりを持っている。地上性の脊椎動物(哺乳類)では、基本的に自身の身体移動のために最も適した、骨格に基盤とする身体プロポジションをもち、その骨格をその目的(歩行、走行)が効率的に行えるように筋が配置され、また筋の特性もその運動にある。歩行、走行以外にも重要な運動があるが、いずれの運動においても関節の構造も大切であり、関節が運動を「制限」することによって目的とした運動が実現されることになる。運動器にはさらに、腱、靭帯も重要な要素として関わっている。神経系は、これらの特性も考慮して筋に指令を出している。このようなことがらについて、詳細を解説していく。	AT必修科目 OATP401と同一。AT必修科目。オンライン(オンデマンド型)
01EH577	スポーツ用具と動きのしくみ	1	1.0	1・2	春AB	金2		小池 関也	スポーツ用具の性能向上のためのしくみについて紹介するとともに、パフォーマンス実現のための動きのしくみ(メカニズム)について解説する。用具として、各種打具、シューズ、各種ボール、水着などを例に挙げ、パフォーマンスに関係する各種特性について、物理的な現象面あるいは生体力学的な視点から解説する。つぎに、スポーツ動作の各種分析手法を紹介したのちに、これらの分析手法を活用して得た各種動作の分析結果から、スポーツ動作における動きのしくみについて解説し、パフォーマンスの発揮メカニズムについて紹介する。	OATP403と同一。オンライン(同時双方向型)

01EH531	スポーツ生理学特講	1	1.0	1	春AB	水2		武政 徹, 西保 岳, 藤井 直人	スポーツ、トレーニング及び健康増進に関わる骨格筋系、呼吸循環及び体温調節系の役割について理解するため、以下のキーワードに関連して解説する。 骨格筋系のキーワード: 重村式トレーニング法、筋肥大、遺伝子ドーピング、サルコペニア、冬眠、レーシングパフォーマンスを上げる遺伝子、老化を遅らせる運動 呼吸循環系のキーワード: ガス交換、酸素摂取量、血管調節、発汗調節、高地トレーニング、暑熱順化、水分調節	AT必修科目 OATP302と同一。 AT必修科目: オンライン(オンデマンド型)
01EH237	アスレティックコンディショニング論特講	1	2.0	1	秋AB	月5, 6	5C506	竹村 雅裕, 向井 直樹, 渡部 厚一, 福田 崇, 金森 章浩, 高橋 英幸	競技力向上を目的としたスポーツ傷害予防やコンディショニングの課題と方法論を多面的に解説する。	AT必修科目 OATP410と同一。 AT必修科目: その他の実施形態
01EH533	スポーツ栄養学特講	1	1.0	1・2	秋AB	月2		麻見 直美, 下山 寛之	時代に即したスポーツ・運動栄養学への理解を深めるために、運動(身体活動)、トレーニング、スポーツに関連した栄養、食生活、食事摂取基準、酸化ストレス、抗酸化ビタミン、エネルギー代謝、糖代謝、脂質代謝、タンパク代謝、骨(フィーマールアスリートトライアドを含む)、貧血、水分代謝、休養(睡眠・時差)などのトピックスを取りあげて、講義を行う。加えて、スポーツ栄養の今日的現場課題について問題理解と解決策検討について議論する。	AT必修科目 OATP304と同一。 AT必修科目: オンライン(オンデマンド型)

#### 課題研究

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH715	コーチング特別課題研究I(設計)	2	3.0	1	春AB秋AB 秋C	月1 月1, 2		中山 雅雄	それぞれの専門種目において、国をリードする監督やコーチとなり、将来的には統括祖機での指導的役割を担う人材を養成を目的とするナショナルリーディングコーチ系列の科目である。自らのトップレベルの競技経験から導き出された課題をいかに科学的に研究するかについての方法論を中心に指導する。	OATP9V1と同一。 対面
01EH716	コーチング特別課題研究II(展開とまとめ)	2	3.0	2	通年	随時		香田 郡秀, 内山 治樹, 本間 三和子, 岡田 弘隆	それぞれの専門種目において、国をリードする監督やコーチとなり、将来的には統括祖機での指導的役割を担う人材を養成を目的とするナショナルリーディングコーチ系列の科目である。自らのトップレベルの競技経験から導き出された課題を科学的方法論に従いながら分析し、それらを論文としてまとめる。	OATP9V2と同一。 その他の実施形態 要相談